

地球環境を守るために何が出来かは
世界共通の課題になりました。



南極海に浮かぶタスマニア島での分別のゴミ収集車

地球温暖化は、地球規模で、自然環境を守る事の
重大さに警鐘を鳴らし続けています。

工場の排水・排気ガス規制から始まって、車の排気ガス規制も近年厳しくなりました。

特に平成13年から実施された「自動車NOx/PM法」は、窒素酸化物及び粒子状物質の排出基準が設けられ大都市地区への「車種規制」も制限されるようになりました。

●8トン以上のディーゼルトラック・バスの規制

排出規制対象	排 出 値 (現 在)	排 出 値 (平成21年10月1日施行)
NOx (窒素酸化物)	2.0g/kWh以下	0.7g/kWh以下
PM (粒子状物質)	0.027g/kWh以下	0.01g/kWh以下

平成22年以降はさらに厳しくなり3.5トン以上の車両も排出規制の対象になります。

詳しくは、各関係官庁へお問い合わせください。

<国の機関>環境省・国土交通省

<社団法人>各トラック協会

株式会社アプロジャパン

〒561-0862 大阪府豊中市西泉丘2-744-1 TEL 06-6864-5611 E-mail apro007@applejp.com

Apro

尿素SCRシステム専用液（尿素32.5%）

アプロノックス330

世界で最も厳しいNOx・PM規制を
クリアするNOx還元添加剤



株式会社アプロジャパン

尿素SCRシステム専用液（尿素32.5%）

アプロノックス330

無色 透明 無害

アプロノックス330は尿素SCRシステム専用の「尿素水溶液」です

尿素SCRシステム搭載のディーゼルエンジン車に使用すると、排出ガス中の大気汚染の原因とされるNO_x（窒素酸化物）を低減させ、無害の窒素と水に分解します。

また供給管のノズルを詰まらせる原因となるCaやMgなどの金属塩を、独自の精製技術で反復除去し、大幅にカットしています。

「アプロノックス330」は無害で安全な製品ですので、取扱いに資格は必要ありません。

当社の技術指導と徹底した品質管理のもと精製された「アプロノックス330」

「アプロノックス330」は、当社の技術指導と徹底した品質管理のもと、20年間の食品添加物の精製技術を活かして、当社の提携工場（中国青島工場）で製造しています。

又、青島工場は日本との海上アクセスの利便性がよく、より早く、より確実な対応が可能です。

消費量の目安

アプロノックス330の消費量は、軽油の5%程度です。

●国産8トンディーゼルトラック・バス 尿素SCRシステム搭載車の場合

日産ディーゼル工業株式会社：Quon 三菱ふそうトラック・バス株式会社：スーパーグレード
（軽油燃料タンク容量：300L 尿素水タンク容量：33L）

消費単位リットル

走行距離／日 稼働日・車両数	100km	200km	300km	400km	500km
1ヵ月・1車	55	110	165	220	275
5車	275	550	825	1100	1375
10車	550	1100	1650	2200	2750
20車	1100	2200	3300	4400	5500
30車	1650	3300	5000	6600	8250
50車	2750	5500	8250	11000	13750

※お客様の運転方法や使用環境で消費率は変わる場合があります。

規格（JIS k2247-1合格品）

項目	規格	項目	規格
尿素濃度	31.8～33.3wt%	カルシウム	0.5mg/kg以下
密度(20℃)	1.0870～1.0920g/cm ³	鉄	0.5mg/kg以下
屈折率(20℃)	1.3817～1.3840	銅	0.2mg/kg以下
アルカリ度(NH ₃ 換算)	0.2%以下	亜鉛	0.2mg/kg以下
炭酸塩(CO ₂ 換算)	0.2%以下	クロム	0.2mg/kg以下
ピウレット	0.3%以下	ニッケル	0.2mg/kg以下
ホルムアルデヒド	10mg/kg以下	マグネシウム	0.5mg/kg以下
不溶解分	20mg/kg以下	カリウム	0.5mg/kg以下
リン酸(PO ₄)	0.5mg/kg以下	ナトリウム	0.5mg/kg以下

荷 姿

10Lポリ缶、1000Lポリコンテナ、
10トンタンクローリー、22トンタンクローリー

供給体制

首都圏・愛知・三重・大阪・兵庫・岡山・北陸

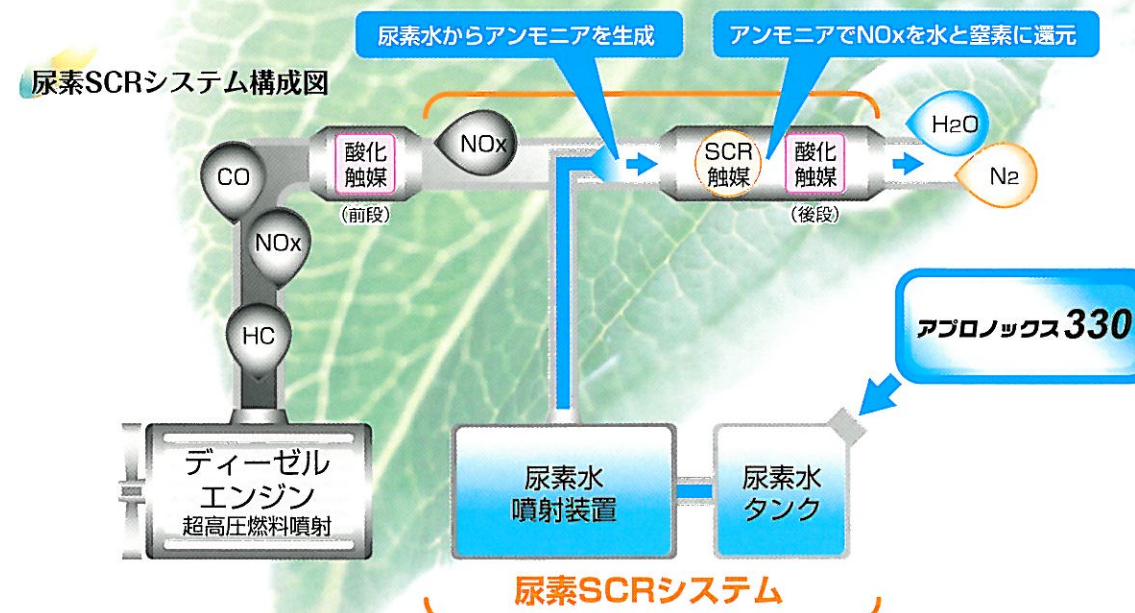
納入方法

- 1) 1000Lコンテナ
ご注文から3営業日以内にコンテナ納品、
ローリーよりポンピングによる納品
(空コンテナは持ち帰ります)
- 2) 10Lポリ缶
20個単位で納入します。
- 3) 10トンタンクローリー、22トンタンクローリー



尿素SCR (Selective Catalytic Reduction) システムとは・・・

ディーゼルエンジン内の燃焼温度を高めて、エンジン側でPMを大幅に減少させ、排気ガスにアプロノックス330（主成分CO(NH₂)₂+H₂O）を噴射して、NO_xを化学反応で無害な窒素と水に分解します。



排ガス浄化 + 燃費6.5% 向上！

※インターネットより抜粋

大型車両に全面的に「尿素SCRシステム」を全面的に採用した三菱ふそうでは、05年モデルの大型トラック（新短期規制対応車）との比較では、高速道路走行時の燃費でSCR車はおよそ6.5%もの燃費向上に寄与する。

アプロノックス330の取り扱い上の注意

●誤充填がないように

尿素SCRシステム車両には、軽油タンクと別途尿素タンクがありますが軽油タンクに誤って、アプロノックス330、又は尿素タンクに軽油を誤充填しないように。

●車両などに付着した場合

アプロノックス330が誤って車両などの金属に付着した時は、腐食の恐れがあります。すぐに水道水で洗い流してください。特に使用する容器や給水装置として、鉄、銅、砲金、青銅の使用は避けてください。

※保存容器や給水装置の材質はポリエチレン、ステンレスが好ましい。

●給水時の注意

※給水作業時は、保護具（保護メガネ、ゴム手袋など）の着用が好ましい方法です。

●手足や目などに触れた場合

万が一、製品が手足等の肌にかかった場合は水道水で洗い流してください。また、目に入った場合は15分以上水道水で洗い流してください。

●保管上の注意

保管容器は、直射日光の当たらない風通しのよい場所で密封して保管してください。製品の温度が、0℃～30℃の場合は2年間、製品の経時変化は見られませんが、40℃になると4ヶ月間で製品の寿命が低下します。又、零下11℃で、結晶化します。

※好ましくは、0℃～30℃で保管してください。